

平成27年度生徒指導集中対策指定校及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	大竹市立大竹小学校	校長氏名	石井 憲幸	生徒指導主事氏名	箱田 知子
-----	-----------	------	-------	----------	-------

取組事例名 『スタートウィーク』

取組のねらい『キーワード 自己指導力の育成』

- ・ 学校生活のルールを確認し、気持ちよく集団生活ができるようにする。
- ・ レベルアップしながら達成感をもてるようにする。

取組の具体的内容『キーワード 当たり前のことが当たり前できるように』

- 学校全体で各学期初めや中間に取り組む。
 - ・ 気持ちのよい返事をする。
 - ・ 3つの「あ」に気がつけたあいさつをする。 … 明るい声で、相手を見て、頭を下げる
 - ・ 丁寧な言葉遣い
 - ・ 正しい姿勢「ピン・ペタ・ゲー」
 - ・ だまりんこタイムの設定
 - ・ 給食指導 … 時間を守って、残さず食べる。
 - ・ 靴箱の使い方
 - ・ 掃除の仕方 … 無言掃除、時間いっぱい、気づき掃除
 - ・ ロッカーの使い方
 - ・ お道具箱、筆箱、下敷きの使い方
- 始業式後に生徒指導主事が話をする。
- 各学級、各児童が自己評価を行い、次の取組の目標の参考にする。

取組の課題・創意工夫『キーワード 新しい自分への挑戦』

〈課題〉

- 「できた」という基準が教職員間、児童間で共通のものになりきっていない。
- 目標を達成するための具体的な指導方法が確立されていない。
- マンネリ化してレベルアップできないまま取組期間が終わり、十分な達成感ややりきった感に至っていない。

〈創意工夫〉

- 目標に対する評価の基準を明確にし、重点目標を決めて取り組む。
- 具体的に目標の基準を視覚化して示す。
- 効果的な指導方法を交流する。
- 始業式や終業式の後には、必ず生徒指導に関する話の中でこれから取り組むことについて話したり、取り組んだことについて評価したりした。



お手本となる写真を、教室や児童玄関に掲示した。
低学年は「トン・スー」と言いながら揃えさせている。

ある学年は、学校の重点目標の1つの
挨拶を学年の重点目標とし、学年独自の取
組や評価方法を考え、取り組んだ。



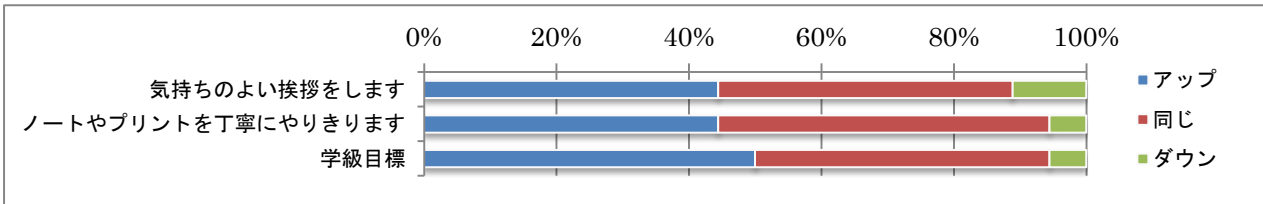
- 児童玄関に各学級の重点目標を掲示し、児童が登校したら意識をもって取り組めるようにした。また、他の学級の児童や担任以外からも評価しやすいようにした。
- 学級通信等で保護者に取り組んでいることを伝え、家での声かけなど協力を依頼した。

学校全体での重点目標も掲示



取組の成果（効果）『キーワード みんなで伸びる』

- ほとんどの学級で肯定的評価が多くなった。



- 重点目標や基準を明確に設定したことで、教師も指導しやすく児童も意欲を持って取り組むことができた。
- 重点目標に取り組むことで、その他のこともがんばろうという気持ちももてた。
- 評価をシールなどで「見える化」したり、数値を示したりした。
- どうすれば目標を達成できるか意見交流の場を設定した。
- 基準が明確になったため自己評価が厳しくなり、評価が下がったところもあったが、教師との評価が一致するようになった。以前は、教師と児童の評価に差があった。
- 学級通信等で取り組んだ結果や子どもたちの様子、今後の指導について伝え、保護者との連携を図った。
- 児童の感想（3学期のレベルアップウィーク）
 - ・ みんながちゃんとしていたので、自分もがんばろうと思って取り組みました。
 - ・ ろうかを走らずにしずかに歩けたけど、右側を歩いていませんでした。だから今度からはレベルアップしていき高めて、右をしっかりしずかに走らずに歩けたらいいなと思います。気をつけます。
 - ・ ぼくは、ろう下をしずかに右がわを歩くことができたので、これからもつづけていきたいです。
 - ・ ろう下をしずかに歩くもくひょうと、3つのあいさつはできていたけれど、そうじの時は、ちゃんとできなかつたから、これからだまってそうじをがんばりたいと思います。
 - ・ あいさつやノートやプリントをやりきってきれいに書いていたけど、これからはもっと美しいノートにしたいです。
 - ・ ていねいな言葉づかいに気をつけました。◎になったときは、うれしかったです。
 - ・ 最後までやりきることは難しかったです。今度からは当たり前のようにできたいです。

今後の展開『キーワード さらにみんなで伸びる』

- ウィーク期間中だけでなく、「いつでもどこでも何度でも」指導していく意識を全職員がもてるための方策を、生徒指導部会や企画運営委員会で話し合っていく。
- 目標の重点化、基準の明確化、視覚支援を取り入れていく。

他校へのアドバイス『キーワード いつでもどこでも何度でも』

- 率先垂範とどの職員も統一した指導ができるようにすれば、児童も戸惑うことなく、不満をもつことなく、学校生活を過ごせると思う。